

南支に 5月11日 土午 11時 15分の電
國內地を周覽し本日当オアヤ
港ヲ航一土月廿二日 向リヨカリ山
旅行の概略は此等ニ通信書ニ
ヤリ聞 此れニ依りてヨカリ山、伯
林等一諸島の都けにヤリニ入り聖地
地保ニあり、ヨカリ山ト云ヒニ此れ
露の都一ホルゴヘリヒニスニ依リし
ウオカ河ヲ下リニシニのお地見守
ヨ見 毛ヲネーカヨリニヤリ

キエラの田舎志トにスライ伯の村
莊ニ此ハキーフニ出コオアヤニ
着ニたる後ニ
土月廿二日 向リヨカリ山
一ノニヤリヲ親友ニハケシニヤリ
ナレハ露の都ニ又ニ其の進出
見ニ可キモノト云ヒニヤリ
露の都ニ在ルヨカリ山ありと申
スニ西ノ地ニ在リしニヤリ
ヨリ其の海軍あり其の都ニ在リ

意ヲ要スルコトヲ有ル是非本旨及
の後會ニ至ル則チ是ハ際ニ上ル也
トモ存ル

英國ニシテ自志ノ一付ニ行キ共
物ニヤヤヤ不取ルモ存ル哉

フ辭ニ心ヲ解キテ着社セシ
際ニノ為ニ終午ニ思拜セシ居

ルノ筆、毒ニ有ル佛シ近東回航
ノ火ノ午は極東切實ニ礼節不

カ以テ附圖下年既ノ時却トシ

其旨トシテ一書ニ係ルは佛法ヲ

云ハシテ又オロソホニセシオキ
等ニ右者然ルニテト要國の價

ク破ハ設ニ多クモ存ル
何モ也此律ノ行キ爾カサリシ後

ニ相見レ何レノ國ニモ日本ノ如ク
官出(二三如除キ)晝夜同探

自陸上其午ノ事ニリト何トカ
爾トシ得ルノ下ニ録等ヲ働カ

レノ交キ元ノト思キリハリト

以陽候リ朝鮮ヲ予ヲ着ルニ

此大ぬ河と墨布はリい家々既

國の城をまふは仕一も極所ニ

到リ一軒一屋等ヲ追ひ押リ

其界の目ヲ醜流ス一大快

手とをたか城等若一程ト

既ふノ中あうはそは中うら

朝鮮の野ニえいとを

は定法常のあを御ニ

漢分は都成城のニ解批

タタリの時下は這い行はとも墨布

陸軍の川上海軍の山本は赤山の流

はタタリ岡下禰浦といもア河

平時は在着敵アは岡下

の周圍ニタタリ之光彩ヲ添ふ

折南と目安おすは折南及敵

一隊句し花張由首

十月ナハハカニ港 佐原

大隈佐岡ト

復其入操子比海河川を流